

令和2年度シラバス（保健体育）

学番41 新潟県立見附高等学校

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1単位	学年	2学年(必修)
使用教科書	最新高等保健体育 改訂版(大修館)				
副教材等	最新高等保健体育ノート 改訂版(大修館)				

1 学習目標

- ・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲と態度を育てる。
- ・健康・安全の意義を理解するとともに、「現代社会と健康」について課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけさせる。
- ・心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を身につける。

2 指導の重点

いのちの大切さ、保険医療制度の知識及び理解、環境問題に関する意識と対策、働くことの意義に重点を置く。

3 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間
4	第2単元 [20h] 1. 思春期と健康	“下記内容を学習のねらいとして実施する。 第2単元 1. 思春期における体の変化について説明できる。思春期の心の発達に関わる健康課題が説明できる。 2. 性意識の男女差を、具体例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 3. 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスをあげることができる。 4. 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。 5. 心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 6. 年をとることにもなう心身の変化にはどのようなものがあるのか説明できる。中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて説明できる。 7. 医薬品の正しい使用法について説明できる。医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 8. さまざまな医療機関の役割について説明できる。医療サービスを受けるときの留意点をあげることができる。 9. 保健行政の役割について例をあげて説明できる。保健サービスの活用の例をあげることができる。 10. 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。	20
	2. 性への関心・欲求と性行動		
	3. 妊娠・出産と健康		
5	4. 避妊法と人工妊娠中絶		
	5. 結婚生活と健康		
6	6. 中高年期と健康		
	7. 医薬品とその活用		
7	8. 医療サービスとその活用		
	9. 保健サービスとその活用		
9	10. さまざまな保健活動や対策		
10	第3単元 社会生活と健康 1. 大気汚染と健康	第3単元 1・大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。地球規模の環境問題について、例をあげて説明できる。 2. 水質汚濁の原因とその健康影響を説明できる。土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 3. こんにちの環境汚染の特徴について説明できる。環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できる。 4. ごみの処理の現状や、その課題について説明できる。安全で質の良い水を確保するための仕組みと課題を説明できる。	15
11	2. 水質汚濁・土壌汚染と健康		
	3. 環境汚染を防ぐ取り組み		
12	4. ごみの処理と上下水道の整備		

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間
1	5. 食品の安全を守る活動	5. 行政、生産・製造者による食品の安全性のための対策について例をあげて説明できる。食品の安全のため、私たち消費者が行うべきことを例にあげて説明できる。	
2	6. 働くことと健康 7. 働く人の健康づくり	6. 働く人の健康問題が、どのように変化してきたかを説明できる。労働災害の防ぎ方についての原則を説明できる。 7. 職場が行う健康増進対策について例をあげて説明できる。余暇の大切さを活用の仕方について説明できる。”	
3			

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

各単元ごとに保健ノート、プリントの提出があります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方や保持増進などについて、自分の経験や仲間との意見交換、資料などをもとに、課題について調べたり、発表しようとしている。 疾病の予防やストレスの原因やその対処法について、課題を解決するため考えたり、発表しようとしている。 応急手当について、正しい手順や方法など、意欲的に実習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方や保持増進などについて、自分の経験や仲間との意見交換をもとに課題を見つけることができる。 疾病の予防やストレスについて課題をみつけ、日常生活にあてはめて適切な行動選択できる。 応急手当の意義や方法について実習を通して正しく理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方や保持増進などについて知っている。 疾病の予防やストレスの原因を理解し、自分でとることができる対処法を考えることができる。 応急手当の手順・方法を、実習を通して知っている。